

授業科目(ナンバリング)	キャンプ実習指導援助 (CC312)			担当教員	神野 周太郎		
展開方法	講義・実習	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
余暇活動や教育活動として実施される野外活動（キャンプ含む）を実践あるいは支援する立場になる際に、プログラムを安全にそして効果的に展開するために必要な知識や技術、指導方法、考え方を修得し、キャンプインストラクターの資格取得を目指す。							②④
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	理論を十分に理解し、野外実践を通して安全にプログラムを進行するために必要な技術を修得する。				技能テスト 知識の理解度確認(試験)	30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	キャンパーとのより良い集団活動をするため、積極的に豊かな人間関係や社会性を築くことができる。				授業態度・授業への貢献度	20%	
協働・課題解決力	キャンパーの野外活動を支援するためのリスク管理についての知識や技術を使い、プログラムを安全に遂行するにあたって事前にリスクを想定し、実施の際には都度に生じるアクシデントに対して具体的な解決策を立案することができる。				技術習得度・ルールの理解(試験)	50%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
野外教育を安全に実施するための専門的理解や必要な技術を修得したか（評価基準 30%）積極的に活動やその支援にあたり、キャンパーとの良好な関係を築ける能力を身につけたか（評価基準 20%）、野外活動における事前のリスク管理と活動中のアクシデントに対する適切な対応を取るための能力を身につけたか（評価基準 50%）を総合的に評価する。また、レポートや小テストに類する取り組みなどへフィードバックを授業で行う。							
授 業 の 概 要							
<ul style="list-style-type: none"> 理論学習と野外実践を行い、野外活動を安全に実施するための知識・技術の修得を目指す。 キャンプ施設にて野外活動を行う。(DAY Camp1 日+テント泊の1泊2日で3日分を想定) サップ、クライミング(ボルダリング)、サイクリング、プロギング、登山、クラフトワーク、テント設営、野外炊飯、焚き火ミーティング等のグループワークから適宜選定した活動を行う。 ※ 社会情勢や感染症等の影響により、実施場所・実施内容は変更可能性有り 学外実習終了後に行う1コマ程度の講義にて、実習を通して学んだ知識や技術、キャンパー指導方法について確認した後、資格認定のための最終筆記試験を行う。 資格認定の試験に合格した受講生は、社団法人日本キャンプ協会発行のキャンプインストラクター資格の申請が可能となる。15,300円【内訳：受験料1,100円、公認料1,100円、登録料1,100円、入会金5,000円、年度会費(日本協会3,000円、都道府県協会2,000円)、事務手数料2,000円】※1 2024年1月現在情報、※2 税込の金額(うち入会金、年度会費は非課税)、※3 受験料、公認料、登録料、入会金、事務手数料は初年度のみ、※資格継続には毎年度の更新が必要です。次年度会費：年度会費+更新料(キャンプインストラクターの場合1,100円) 原則として、スポーツ実習C(キャンプ)を履修済みであることを履修の条件とするが、受講者のおかれている状況(既に野外活動の経験が十分に有ると判断できるなど)に応じて適宜対応を検討する場合もある。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。 							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：キャンプ指導者入門 第5版(日本キャンプ協会,2019) 参考書：キャンプディレクター必携 第3版(日本キャンプ協会,2022) 指定図書：キャンプ指導者入門 第5版(日本キャンプ協会,2019)							

授業外における学修及び学生に期待すること

受講者同士での野外活動や、野外活動のプログラム進行における援助などが具体的な学習の場になる。積極的に活動へ参加し、受講生同士やキャンパーとの交流を通して、キャンピングインストラクターとしてふさわしい資質能力を身につけてほしい。また、実習で学んだことが本当の意味で身に付くよう、生涯を通じて野外活動に親しんでほしい。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス・理論①	授業の内容・展開方法、評価の方法等に関する説明、キャンプの目的と意義、キャンプの組織と種類	予習：シラバスに目を通しておく。
2	理論②	キャンプのルールとマナー	復習：キャンプ実習のルールとマナーを確認する。
3	理論③	キャンプにおける安全管理の考え方、事故事例に学ぶ	復習：キャンプ実習で行う安全管理の方法を確認する。
4	学外実習① (1日目午前)	キャンプの安全、安全管理の実際、キャンプの生活技術(野外炊飯)(状況に応じて外部講師等)	予習：調理の方法、火のおこし方について調べておく。
5	学外実習・理論④ (1日目午後)	人間と自然の理解、人間の理解、自然の理解①(状況に応じて外部講師等)	復習：キャンプ実習の実施施設について確認する。
6	学外実習② (2日目午前)	様々なアクティビティ：選択アクティビティ(状況に応じて外部講師等)	予習：キャンプで行うアクティビティについて内容や指導方法を確認する。
7	学外実習③ (2日目午前)	キャンプの生活技術：野外炊飯①(状況に応じて外部講師等)	予習：調理の方法、火のおこし方について調べておく。
8	学外実習・理論⑤ (2日目午後)	人間と自然の理解、人間の理解、自然の理解①(状況に応じて外部講師等)	復習：キャンプ実習の実施施設について確認する。
9	学外実習④ (2日目午後)	キャンプファイアー(状況に応じて外部講師等)	予習：キャンプファイアーの運営方法や安全管理について確認する。
10	学外実習・理論⑥⑦ (2日目夜)	キャンピングインストラクターの役割、キャンパーの観察と記録、キャンプにおけるカウンセリング、指導者のためのコミュニケーションスキル(状況に応じて外部講師等)	復習：キャンピングインストラクターの役割について理解する。実習期間中の学生の支援記録の方法について確認する。
11			
12	学外実習⑤ (3日目午前)	ロック・クライミング(状況に応じて外部講師等)	予習：ロック・クライミングの活動意義・安全管理の点を確認する。
13	学外実習⑥ (3日目午後)	マリンアクティビティ(状況に応じて外部講師等)	予習：マリンスポーツの特性及び危機管理について調べておく
14	学外実習⑦ (3日目午後)	キャンプの生活技術：野外炊飯②(状況に応じて外部講師等)	予習：調理の方法、火のおこし方について調べておく。
15	事後指導、理論⑧	実習を通して学んだことに関する日誌作成、試験	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。
16	試験	筆記試験	試験に向け、これまでの授業内容を振り返る。